

てらこし和洋の一般質問 (令和元年12月10日)

Q1 各種相談事業の検証

質問 市民相談、合同相談、法律相談、相続・登記相談が増加しているが、相談件数減の取り組みと新しい施策は。また、相談件数を少なくするため、庁内一丸で取り組み、庁内たらい回しにならないよう求める。

答え 問題点は、家庭内や近隣とのトラブル、仕事や離婚などの相談が多くなっている。近年は、ニーズの多様化や社会全体の複雑化、家族関係や地域とのつながりの希薄化などが考えられる。包括的・総合的な相談支援体制の構築に向けて検討を始めている。今後は、市民相談対策委員会で、必要となる施策について検討して行く。相談者がたらい回しにならないよう庁内で連携を図り、誠実な対応を努めて行く。

Q2 子ども相談の急増の原因は

質問 子ども相談室事業の相談急増の問題は。児童虐待が急激に増加したが、児童虐待や増加する教育相談等を減らす対策は。令和2年4月からの改正児童虐待防止法の対応は。

答え 要因は、相次ぐ虐待事件の関心の高まりと考えている。また、核家族化により、子育て中の保護者のストレスや、経済的困窮等と思われる。改善策として、関係機関と連携し支援につなげるほか、町内会や福祉団体、こども園・保育所等や保護者向けに子育て講座や虐待防止講座を行い啓発している。小・中学校、保育関係機関等を職員が巡回し、情報収集や相談も行っている。教育相談では、学校教育センター等と連携し、その都度支援を検討している。改正児童虐待防止法の対応については、考えていない。



Q3 交通事故防止のキッズゾーンの設置

質問 交通事故防止策の一つとして、キッズゾーンの設置について、市内の危険箇所数と危険箇所工事の予算措置は。

答え 危険箇所数は58カ所。キッズゾーンについては協議中で、今後、詳細が決まり次第、予算措置をする。



Q4 石川海岸の砂浜の海岸保全施設の指定

質問 波の侵食から海岸を守る海岸保全施設として徳光町の砂浜が、国土交通省から全国初の指定を受けたが感想は。世界ジオパークの認定の一つとして、徳光海岸と小舞子海岸を、白砂青松と海に沈む夕日をPRしては。

答え 砂浜は、海岸侵食や高波等による被害の防止、近隣住民の安全・安心や国土保全に寄与する。徳光・小舞子海岸は水平線に沈む夕日を臨むことができ、まさに地球を感じられるスポットとして人気があり、今後、フェイスブック等のSNSを活用し積極的にPRを図って行く。さらに、ジオツアー等に徳光・小舞子海岸を新たにコースに組み込み魅力アップを図る。



Q5 (仮称)蓬萊荘の今後の利用は

質問 令和3年3月から使用できる(仮称)蓬萊荘の利用方針と施設内容は。これまでの方々の利用を十分尊重し、利用しやすい体制で臨んでほしい。

答え 地域の防災拠点として子どもから高齢者まで幅広い世代が利用し、世代間交流や健康増進を目的に整備する。具体的には、避難所機能や会議室・より広い浴室・休憩コーナー等を設け、利用者には、広く利用をいただくため、条例を制定し進めて行く。

てらこし和洋のプロフィール

昭和33年3月4日生まれ
昭和48年3月 白山市立鶴来中学校卒業
昭和51年3月 県立金沢錦丘高等学校卒業
昭和55年3月 神奈川大学経済学科卒業
平成7年4月～ 旧鶴来町議会議員
平成17年3月～ 白山市議会議員
平成26年3月～27年3月 白山市議会議長(第10代)
平成29年2月 白山市議会議員当選(通算7期目)

現在の役職

- 議会での所属／総務企画常任委員、議会運営委員、白山野々市広域事務組合議会議員、手取川流域環境衛生事業組合議会議副議長、高橋川改修促進期成同盟会理事
- その他の役職／白山市サッカー協会会長、白山市相撲連盟会長、石川県フィンランド友好協会会長代行、石川県サッカー振興議員連盟会員、白山市自衛隊募集相談員、クレイングラウンドゴルフクラブ会長、神奈川大学宮後会石川県支部常任幹事、錦丘高校同窓会代表幹事、元秋田犬保存会石川県支部展覧会名誉会長

他に二つの質問をしました

Q 一般事業主行動計画の対応

質問 次世代育成支援対策推進法に基づき、企業が雇用環境の整備等について都道府県労働局に一般事業主行動計画を策定し、届けることが義務とされているが、市の対応について質問をした。

Q シルバー人材センター

質問 66歳以上でも働ける制度のある県内の企業は28.4%。全国ワースト5で、高齢者が働く環境が遅れている中、県内のシルバー人材センターには仕事依頼が殺到しているが、白山市シルバー人材センターの会員の推移と事業所からの受注件数を質問した。

※詳細は市の広報紙やホームページをご覧ください。

白山市議会議員

てらこし和洋

白山市議会通信

2020年5月号



新緑の季節を迎える今日この頃、貴台始めご家族の皆様方におかれましては、益々ご清祥にてお過ごしのこととお慶びを申し上げます。

年号が令和に変わり、1年経ち私たちの生活にも馴染んで来たようであります。

新しい時代を迎えた中、今年に入り中国武漢市で発生した新型コロナウイルスが全世界に猛威を振るっています。まだまだ消息感が見えない状況の中、人・ものが動かない状況が社会の閉塞感になり国民生活への打撃であります。

国におかれては、ワクチンや医薬品の開発を全世界と行動を共にしながら、医薬品メーカーに多大なる支援をし、新ワクチンの開発により、新型コロナウイルスを撲滅し早急なる終焉を迎え、国民に安心感を与えてほしいものであります。そして、医療従事者の方々や社会的弱者に対し支援している人達にもエールを送り、各分野でのケアについて支援していかねばなりません。

この緊急時、地方議員として出来る事に限りがありますが、何が出来るか誠心誠意対応して行かなければなりません。このような状況こそ議員として、言動に責任を持たなければなりません。

さて、新年度に入り白山市では、昨年の東洋経済新報社から「住みよさランキング2019」において全国第1位の評価や、宝島社から「住みたい田舎ベストランキング」では3年連続ランキンなど評価が上がっていると思

ますが、生活感の実感を感じるようにすることが、議員の仕事の一つであると思います。

さらに日本ジオパークに再認定、SDGs推進の選定やスマートウェルネスシティ首長研究会の加入など、全国的にも知名度が上がってきていると思います。さらなる認知度・知名度の向上に繋げて行きたいと思

財政的には、当初予算にも見られるように、お子さんから高齢者の方々、社会的弱者といわれる方々への社会保障費の充実としての扶助費が増えてきている状況であります。その様な中で、誰一人取り残さない施策の充実を進めて行かなければなりません。

来年2月には、白山市議会議員の選挙が行われます。私自身、後援会の方々と話をしながら、これまでの実績や市民の皆様への負託に応える施策の充実を訴え続け、後援会の体制の強化に努めたいと思

私自身は軸足が市民であることを忘れずに、声なき声を大事にしながら、人間力を磨き、人間性を前面に出し、日本人としての美徳を大切に、夢と希望と努力することが報われ、安心して暮らすことが出来る安全なるまちづくりの推進を図ってまいります。

最後に今後とも、さらなるご指導ご鞭撻ご叱咤を賜りますようお願いを申しあげ、貴台始めご家族皆様方には新型コロナウイルスに負けることなく、ご健康とご多幸を心よりご祈念申し上げご挨拶といたします。



令和2年1月12日 鶴来成人式であいさつ

※令和2年度 当初予算(主なもの)

◎歳入 総合計

一般会計	501億 200万円
国民健康保険特別会計	113億4,364万円
後期高齢者医療特別会計	13億5,044万円
介護保険特別会計	98億5,728万円
墓地公苑特別会計	2,152万円
温泉事業特別会計	1,254万円
工業団地造成事業特別会計	3億3,426万円
湊財産区特別会計	2,435万円
水道事業会計	31億7,032万円
工業用水道事業会計	2億5,014万円
下水道事業会計	94億7,915万円
総 額	859億4,835万円

◎一般会計の歳出 性質別経費

人件費	77億 558万円(15.4%)
物件費	59億 727万円(11.8%)
維持補修費	5億7,433万円(1.1%)
扶助費	99億2,187万円(19.8%)
補助費等	83億5,513万円(16.7%)
普通建設事業費	74億7,402万円(14.9%)
災害復旧費	400万円(0.0%)
公債費	74億8,790万円(15.0%)
積立金	1億7,708万円(0.4%)
貸付金	1,500万円(0.0%)
繰出金	24億6,983万円(4.9%)
予備費	1,000万円(0.0%)

白山市議会議員 **寺越 和洋** 後援会事務所

〒920-2146 白山市日向町和110番地 TEL・FAX 076-272-2789

- E-mail terakos@asagaoTV.ne.jp
- メールアドレス terakoshikazu@docomo.ne.jp
- メールアドレス terakoshikazu@gmail.com
- 携帯電話 090-7088-0000